

+ 成田赤十字病院広報誌

ふれあい

〒286-8523 千葉県成田市飯田町90-1
TEL 0476(22)2311(代) <http://www.naritasekijyuji.jp/>

+
第3号
2004.1



緊急出動！ 赤十字救護班！！



成田赤十字病院救護班出動！

平成15年11月26日に発生しました夷隅郡天津小湊町清澄山ハイキング客（30名）行方不明事故の際に、医師、看護師、事務職員で編成した医療救護チーム6名を、現場となった清澄山のふもとにある清澄寺に設置された現地災害対策本部に急派しました。

不明になったハイキング客は翌27日早朝に無事発見され、待機していた当院救護班による健診を受けられたあと、無事帰途に着されました。

以下は、その時出勤した当院中西救急・集中治療科部長の記録です。

その日の朝7：00頃、いつものようにコーヒーをすすりながら目で新聞を追い、耳でテレビのアナウンサーの声を聞いていました。普段通りの朝でしたが、病院に到着して着替えている最中に突然ポケットベルで呼ばれ、遭難したハイカー30人の救護に向かうことになりました。

確かにニュースでは聞いていましたが、まさか自分が実際に現場に出かけることになるとは…山中で発見されて全員無事ということだったけれど、高齢者のグループだし、昨夜は冷え込んでいたから、「ひょっとしたら重篤な低体温症に陥った人がいるのかもしれない。」などと考えながら、村田師長、岩佐看護師、三浦看護師、原主事、伊藤主事と共に病院の救急車で清澄寺に向かいました。



ハイキング客の状態を調べる中西部長

清澄寺まで2時間ほどかかりましたが、高速道路を降りてからの1時間は曲がりくねった山道で、後部に横向きに座っていた女性3人はかなり参ったようで、到着して車から降りたときは内心ほっとしていたようです。

ハイカー30人は20分ほど前に到着しており、すでに一室で休んでいると聞き、早速部屋を訪ねました。扉を開けると、皆さん座ってお茶を飲んでおられ、車中で考えた事態が取り越し苦労であったことが一見してすぐにわかりました。

最高齢の方は83歳（！）でしたがとても山中で一夜を過ごしたとは思えないほどお元気で、むしろ車酔いした我々の方が顔色不良だった気がします。4人で手分けをして、問診と脈拍のチェックを行い、必要な方には血圧測定も行いました。多少血圧が高い方もいらっしゃいましたが自覚症状はなく、30分ほどで部屋を辞しました。

幸い皆さんご無事で大した活動はしていませんが、今回の救護活動に参加したことで、なるほど自分は赤十字社で働いているのだということを実感しました。これまではテレビなどで災害報道を見聞きしていても、自分の身近なこととは感じられず、たとえそれが千葉県内の出来事でもどこか遠い場所のように感じ、現実感を伴っていませんでした。最近イラクへの自衛隊派遣問題や、日本人外交官殺害事件などが頻繁にメディアで取り上げられていますが、自衛隊を派遣することによって生じる日本への報復テロの危険や、成田空港の近隣であるという当病院の立地条件などを考えると、救護要員としていつでも出動できるように精神的、肉体的、また技能面での準備を常に心がけておく必要があるのかもしれません。

[illegible]

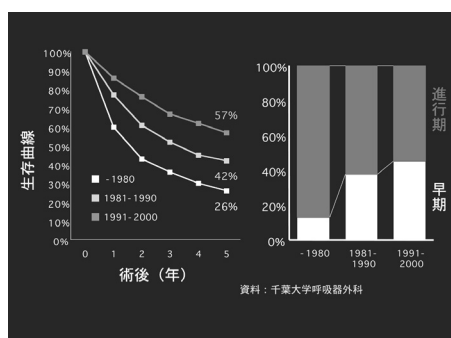
診療科を新設しました ～呼吸器外科～

このたび成田赤十字病院に呼吸器外科が新設されました。本広報誌の紙面をお借りして呼吸器外科についてご紹介させて頂きたいと思います。最初に呼吸器外科の扱う疾患ですが、呼吸器外科は胸部一般外科とも呼ばれていて胸部外科のうち専門性の高い心臓血管外科と食道外科を除いた胸部外科疾患のほぼ全域を対象としています。特に頻度の高いものは肺癌を代表とした肺悪性腫瘍で他に肺の嚢胞性疾患（自然気胸を含む）、肺の先天性奇形、肺の炎症性疾患（肺化膿症や膿胸）、縦隔（左右の肺の間にある胸部の中心部分）の腫瘍や炎症、胸壁の腫瘍、重症筋無力症に対する胸腺摘出術、胸部外傷（肺挫傷・肺破裂や気管・気管支損傷、横隔膜破裂）などの患者様の治療を担当させて頂きます。これらの疾患は比較的重篤なものが多く、時として生命にかかわるものもありますが成田赤十字病院は多くの専門性の高い診療科・スタッフが揃っており呼吸器外科としてもこれらとの連携・グループ診療を通して質の高い医療を地域の患者様に提供できるものと確信しております。

肺癌の外科治療

近年生活様式の欧米化に伴い日本でも肺癌は著明に増加しています。2000年以降はそれまで死因のトップであった胃癌をぬいて年間悪性腫瘍による死亡数のトップになり

以後も年々増加しています。しかしながら肺癌の外科治療成績も以前に比べ格段に向上しています。グラフの左は肺癌の手術を受けた患者様の5年生存率を示しています。



5年生存率とは手術を受けてから5年後まで生存している患者様の割合で、5年過ぎると再発する心配が少なくなり一応癌が治ったと考えてもいい時期の患者様の割合です。1980年以前は肺癌の手術を受けた患者様の26%しか治らなかったのにこの10年間では57%と半数以上の患者様が治る時代になっています。なぜ肺癌の治療成績は向上したのでしょうか。グラフの右は各年代の手術を受けた患者様の癌の進行度を示しています。1980年以前に比べて早期に治療を受ける患者様が圧倒的に多くなり、肺癌の治療成績向上は画期的な治療法の開発よりむしろ集団検診を初めとした早期発見・早期治療が肺癌の治療に最も重要であるということを示しています。現在でも早期発見・早期治療に勝る治療手段は存在しないのです。肺は胸部レントゲン写真や胸部CT検査、更に喀痰細胞診などの簡便な検査で早期発見が可能です。是非住民検診や人間ドックを利用して治る肺癌を手遅れにしないようにしましょう。

胸腔鏡下手術

近年、手術手技の進歩に伴い胸腔鏡下手術が普及しています。当病院でも早期の肺癌、自然気胸、肺良性腫瘍などに対して積極的に胸腔鏡下手術を行っております。利点としては傷が小さいことや術後早期の痛みが少ないこと、更に入院期間も従来の胸を大きく開ける開胸手術に比べて短期間ですみます。もちろん手術は安全であることと確実に病気を治すことが優先ですが、治療効果が開胸手術と変わらないものは全例胸腔鏡を用いた手術を患者様にお勧めしています。



感染対策室からのお知らせ

成田赤十字病院に感染対策室があるのを、ご存知でしょうか。以前、ニュースや新聞等でMRSAやセラチア菌等の院内感染が話題に上がりました。最近では重症急性呼吸器症候群（SARS）が有名です。院内感染対策の目的は、①院内感染から患者さまを守る、②感染事故などから職員を守る、③病院経営に貢献する、④感染対策を通じ社会に貢献するの4点にあります。私達は、その為の対策や啓蒙活動を行っております。

感染予防の基本は、手洗いです。看護師が流水や速乾性の消毒剤入り石鹸で手指を洗っている姿を良く見かけいませんか？人から人への接触感染や交差感染防止として一処置一手洗いを実践しているのです。病院内で細菌やウイルスが広がる経路では、「手」が多いのです。

この冬もSARSの再流行が懸念されています。幸い昨冬

は、日本では発症はありませんでしたが、まだまだ油断は禁物です。SARSの初期症状は、①急激な発熱（38℃以上）②咳③全身倦怠感、筋肉痛等でインフルエンザと似ていると言われています。SARS流行時に混乱を避けるため、インフルエンザワクチンを接種しておく、インフルエンザの重症化を半減することが出来ます。是非ともインフルエンザワクチンの予防接種をお勧めします。又、風邪の季節は咳が出ているときはマスクをつけましょう。飛沫感染といって細菌やウイルスは口からも入ってきますのでうがいも大切です。感染予防は、身近なところから始められます。当たり前の基本ではありますが、外出後は手洗い・うがいをしていきましょう。



成田赤十字病院 外来担当医表

診療受付時間 午前8：30～午前11：00（自動再来受付機による再診受付は午前7：00から）但し形成外科は午後12：30から

(平成16年1月1日現在)

診療科目			月	火	水	木	金	土(第1・3・5)
内科	①	初診	柳 沢	松 尾	尾世川	小 方	蓮 沼	藤森 新島 森尾
	②		寺 沢	青 墳	脇 田	新 島	松 浦	倉本 志賀 遠藤
	③	初回再診	寺 田	平 栗	櫻 田	松 浦	志 賀	江渡 平栗
	⑬		倉 本	小方／尾世川	江 渡	森 尾	青山／平栗	交代で1診ずつ
	⑤総合1	再(予約)診	門 平	武 田	柳 沢	尾世川	大 橋	伊 能
	⑥総合2		加 藤	波多野	松 本	(膠原病)柳沢	前 田	〈訪問〉
	④血液内科		青 墳	脇 田	松 浦	脇 田	脇 田	尾世川
	⑧消化器内科		小 方	伊 能	福田(和)	遠 藤	木 下	柳 沢
	⑨呼吸器内科		新 島	江 渡	新 島	喘息外来	寺 田	波多野
	⑩循環器内科		尾世川	寺 沢	森 尾	志 賀	藤 森	松 岡
	⑪腎臓内科		蓮 沼	大 橋		(糖尿病)松尾	倉 本	蓮 沼
	⑫糖尿病内科		荻 野	櫻 田	松 尾	荻 野	櫻 田	荻 野
	(午後)				⑥長谷川/藤森	江 渡		
	救急外来	午前	青 山	北 原	門 平	志 田	武 田	交代制
		午後	吉 村	竹 田	藤 堂	押 田	万 代	
	人間ドック	午前	松 岡	蓮 沼	蓮 沼	伊 能	松 岡	蓮沼／伊能
	糖尿病教室	午後	松尾／櫻田					松尾／櫻田
外科		初診		菅 谷	石 井	清 水	西 谷	西 澤
		再診	小川・菅谷 西 村	石 井 清 水	西 澤 太 田	小川・西谷 古川・第3山中	大多和 西 村	太 田
心臓血管科		初診・再診		小 林		小 林		
整形外科		初診	喜 多	斉 藤	三 枝	井 上	小 泉	初診・指定患者・ 投薬のみ
		再診	三枝・小泉 杉 岡	喜多・井上 小 林	斉藤・小泉 杉 岡	三 枝 斉 藤	喜 多 井 上	
小児科		初診・再診	眞山・野口(博) 角南・渡邊	眞山・五十嵐 有 馬	野口(博)・野口(靖) 鈴 木	野口(博)・角南 野口(靖)・渡邊	眞山・野口(博) 有馬・五十嵐	野口(博) 第1・5五十嵐 第1・5渡邊
	特殊外来 (要予約)	午後	第1・3(予防接種) 野口(博)	(乳児健診) 交代制	(内分泌)眞山 (血 液)角南	第3(神経) 杉 田	藤森(発達)	第3野口(靖)
			第4(発達) 野口(博)		(循環器)本田・浜田 交代制			第3鈴木
脳神経科		初診・再診	柴 橋	澤 浦	加 藤	中 村 国保(第3)	五十嵐	加 藤
産婦人科	婦人科	初診	上 杉	小 林	坂 本	藤 田	石 井	小 林
	産科	再診	小 林 坂 本	藤 田 石 井	上 杉 藤 田	石 井 上 杉	坂本・外丸 小 林	KSP外来大学医師
眼 科		初診・再診	渡 部 窪田・宇高	交代制	交代制	渡 部 高橋・宇高	渡 部 高橋・窪田	交代制
耳鼻咽喉科		初診・再診	根 本 海老原			根 本 海老原	根 本 海老原	
皮膚科		初診・再診	山 本 宮 川	寄 藤 山 本	手術日	山 本 宮 川	寄 藤 伊豫田	初診・指定患者・ 投薬のみ
泌尿器科		初診・再診	大 木 中 町	山 本	中 町 大 木	大 木 吉 田	中 町	第1・3新保 第5大木/中町
神経内科		初診	大 飯	小 松	吉 川	田 村	片 山	片 山
		再診	片 山	吉 川	田 村	片 山	小 松	
精神科		初診	斎 賀	赤 田	佐 藤	竹 田	吉 村	竹 田
放射線科		再診	赤田/吉村・竹田	佐藤・佐竹	斎賀・吉村	佐藤・斎賀	赤田・竹田	赤田/佐藤・吉村/斎賀
放 射 線 科		初診・再診	岡 田	大学講師 (尾 形)	岡 田	大学講師 (磯 部)	岡 田	指定患者のみ
麻 酔 科		初診・再診		藤 井		江 澤		木 島
口腔外科		初診・再診	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東	宮 東
形成外科		初診・再診	黒 木		黒 木		黒 木	
呼吸器科		午後12:30～	中 島		中 島		大 森	
呼 吸 器 科		初診・再診	斉 藤		斉 藤			

※内科①～⑬は診療室の部屋番号です。

基本理念・基本方針

【基本理念】

- ・医療の質の向上、安全な医療の提供に努めます
- ・患者様の権利、医療人としての倫理を守ります
- ・患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます

【基本方針】

- ・地域の皆様から信頼される病院を目指します
- ・救急医療の充実、より高度な医療の提供に努めます
- ・地域の医療機関とのより一層の連携（病診連携、病病連携）に努めます

患者様の権利

私たちは、患者さまの権利を尊重し、最善の医療の提供に努めます。

1. あなたの尊厳を守ります。
2. 適切な医療を受ける権利を尊重します。
3. 診療についての十分な情報、説明を受ける権利を尊重します。
4. 自分自身の治療について自分で決定する権利を尊重します。
5. あなたのプライバシーが守られます。